創意工夫保育賞 受賞 兵庫県

令和８年１０月

取組内容

未来を彩る、子どもと地域の協創教育

●子どもの「やってみたい」という思いや発想を大切にし、遊びを通して資質・能力を育んでいる。５歳児では、色水遊びから草木染めへと活動が発展し、自分たちで染めたＴシャツや布を運動会や遊びに活用するなど、考え、試し、工夫しながら、友達と協力して活動する経験を重ねている。

●芳田の里ふれあいフェスタなどの地域行事に参加し、太鼓やダンスの披露、遊び広場の運営、染色作品を活用した出店などを行っている。地域の方との挨拶や会話、準備や片付けなどの交流を通して、人と関わる力や社会性、自信や意欲を育み、達成感を味わえるようにしている。

●園内での異年齢児交流や小学校との交流、保護者・祖父母が参加する活動など、多様な人と関わる機会を設けている。また、子どもの活動や育ちを写真やドキュメンテーションで保護者と共有し、園・家庭・地域・小学校がともに子どもの育ちを支える取組を進めている。

講　評

子どもの「やってみたい」という思いを起点に、園・家庭・地域・小学校をつなぎ、多様な実体験を通して園児の主体性を育むとともに、地域に根差した教育・保育モデルとして優れた取組です。